

は　じ　め　に

本報告書は金沢大学保健管理センターが、昭和58年、59年に行ってきた事業の記録であります。これを見ますと惰性的に行ってきた健康診断業務が主で、決してアカデミックなものではなく、センターが城内の小診療所のように勘違いされているのも仕方がないように思います。昨年の全国所長会議でも、大学のセンターは単に保健管理の実務のみにとどまらず、更に教育面、研究面に実績をあげるべきだと要請されました。昨年よりセンターがどうあるべきかを模索していますが、民間のセンターでないアカデミックなセンターに脱皮すべく努力しています。実務においても陳腐なものを捨て、近年必要度の高くなった項目を加え、更に研究、教育面でも寄与できるセンターを目ざしたいと考えています。

この報告書が年を追うごとに内容が変わり、少しずつ学究的となるよう努力したいと思います。

今後とも各方面の御指導と御協力をお願い申し上げます。

昭和 60 年 3 月

金沢大学保健管理センター

所長　野　村　進